

お買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。



- ・約200万画素
- ・屋外対応（IP67）
- ・赤外線（IR）照射
- ・動画圧縮規格 H.265対応

本製品を使用される前に、次の資料を必ずご確認ください。

- **取扱説明書（基本編）：本書**
安全上のご注意、使用上、設置上のお願事項について記載しています。
- **取扱説明書（操作・設定編）：**
本製品を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。
- **設置ガイド：**
本製品の設置方法について記載しています。
取扱説明書（操作・設定編）および設置ガイドは、次のURLからダウンロードできます。 <https://jp.sharp/business/security-camera/>

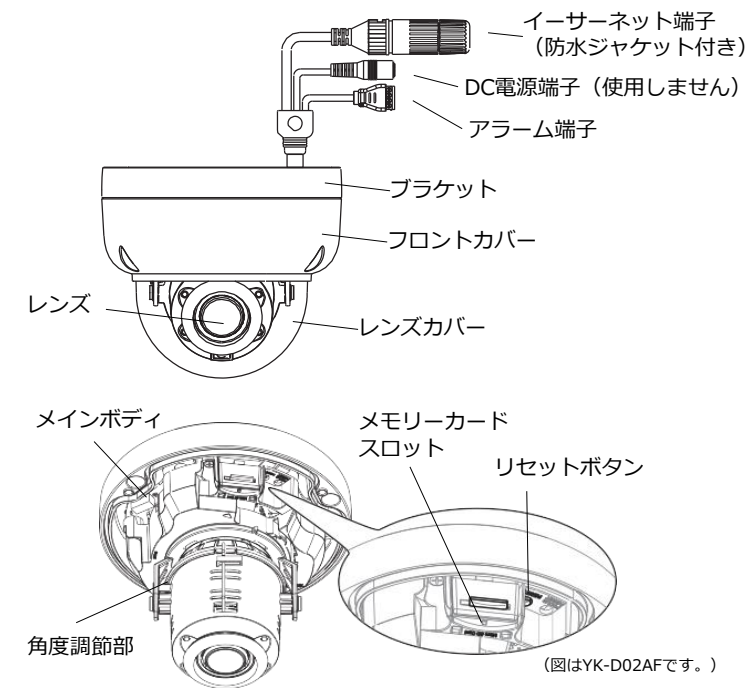
表記について

説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、
「ネットワーク・ビデオ・レコーダー」を「NVR」と表記します。

商標について

Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

本体各部のなまえと付属品



(図はYK-D02AFです。)

付属品

付属品	個数
取扱説明書（基本編）（本書）	1
ネジ（ビス）	3
アンカープラグ（コンクリート専用*）	3
防水ジャケット	1
ドリルテンプレート	1
六角レンチ	1

*コンクリート以外の天井または壁面に設置する場合は、設置場所に適したアンカープラグとアンカープラグに適したネジをご用意ください。

安全上のご注意 <必ずお守りください>

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。内容をよくお読みのうえ、記載事項をお守りください。

◆あやまった使いかたによって生じる内容を、次のように区分しています。

- ⚠ 危険** 「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容。
- ⚠ 警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
- ⚠ 注意** 「軽傷を負うまたは物的損害のおそれがある」内容。

◆お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。

- ⊘ してはいけないこと。
- ❗ しなければならないこと。

危険

- ⊘ ● 非常に高温になる場所（暖房設備の近くなど）に設置しない（火災・やけど・けが・感電の原因）
- 本体を分解したり、改造したりしない（火災・感電・けがの原因）

警告

- ⊘ ● 本体に異物（水や金属など）を入れない（火災・感電の原因）
- 可燃性ガスが発生する場所で使用しない（爆発によるけがの原因）
- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしない（火災・感電の原因）
- 破損したまま使用しない（火災・感電の原因）
- 雨天時など、本製品および作業者がぬれた状態で絶対に作業しない（感電の原因）
- 荷重に耐えられない不安定な場所に設置しない（落下・事故の原因）
- 振動や衝撃、反響の多い場所に設置しない（落下・事故の原因）
- 医療用電気機器、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置しない（電子機器の動作不良による事故の原因）
- 風が強い場所に設置しない（落下・事故の原因）
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない（落下・事故の原因）
- ぶらさがらない、足場代わりにしない（けが・事故の原因）
- 小さな部品を乳幼児の手の届く所に置かない（誤飲の原因）
- 雷が鳴り始めたら、本製品に触れない（感電の原因）

- ❗ ● 設置工事や点検、修理はお買いあげの販売店または設置業者に依頼する（火災・感電・落下・事故の原因）
- 設置は指定の方法で正しくおこなう（火災・感電・落下・事故の原因）
- 人がぶつかからない高さに取り付ける（けがの原因）
- 設置や点検のときは、保護具（手袋、ヘルメットなど）を着用する（やけど・けがの原因）
- 配線は電源を切ってからおこなう（感電・火災の原因）
- 専用の取付金具を使用する（落下・事故の原因）
- モルタル壁などへ設置する場合は、取付プレート、取付金具、ネジなどがメタルラス、ワイヤラスまたは金属板と接触しないように設置する（劣化による金属への漏電・火災の原因）
- 石こうボードなど、強度の弱い天井や壁面に設置する場合は適切に補強する（落下・事故の原因）
- 落下防止対策をおこなう（落下・事故の原因）
- 防雪対策をおこなう（落下・事故の原因）
- 異常（異臭、発熱、変形、変色）があるときは、すぐに電源を切る（火災・やけど・けが・感電の原因）
- 対応後、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 定期的に点検する（落下・事故の原因）
- 使用を終了する場合は、放置せずに設置場所から取りはずす（落下・事故の原因）
- 取りはずし作業は販売店や設置業者に依頼してください。

注意

- ⊘ ● 使用環境温度を超えるような高温または低温の場所や、ほこりや湿気、煙、油煙の多い場所に設置しない（故障の原因）
- 強度な電磁放射線にさらさない（故障の原因）
- 金属のエッジを素手でさわらない（けがの原因）
- 本製品の金属部分を素手でさわらない（やけどの原因）
- 太陽やレーザーなどきわめて明るい対象にカメラを向けない（劣化の原因）

- ❗ ● 密閉空間で使用する場合は、適切に換気する（故障の原因）
- 輸送時は、専用の梱包材を用いる（故障の原因）
- お手入れのときや長期間使用しないときは、電源を切る（故障の原因）
- 長期間使用しないときはセンサー部にほこりがはいらないようにする（故障の原因）

設置する

はじめる前に確認してください

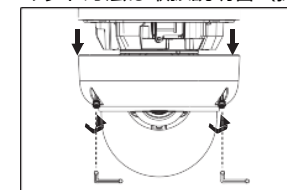
- 設置工事は必ず販売店または設置業者にご依頼ください。
- 設置環境に関連する製品仕様を確認してください。海岸近くなどの塩害地域や、温泉（硫黄泉）近くへの設置は避けてください。
- DC電源端子、アラーム端子、非防水部など、防水仕様でない箇所については防水加工を施してください。
- 設置場所はお買いあげの販売店とよくご相談のうえ、十分な強度がある壁面や天井などを選んで設置してください。やむをえず石こうボードや板材など、強度が不十分な場所に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。
- パッケージの中の製品の状態に問題がなく、すべての付属品がそろっていることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電源はPower over Ethernet(PoE)から供給されます。本製品をNVRまたはPoE給電装置（PoEハブなど）とLANケーブルで接続し、NVR等の電源をONにすることで電源が供給されます。
- 赤外線反射を防ぐため、次の注意事項に留意してください。レンズのカバーに付着したほこりや油は赤外線の反射を引き起こします。レンズカバーのフィルムは、設置が完了するまではがさないでください。レンズカバーにほこりや油が付着した場合、本書の「お手入れ」に記載している方法で清掃してください。カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。

屋外に設置する場合のご注意

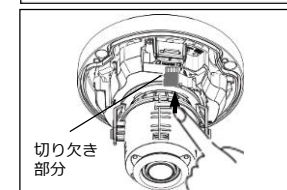
- LANケーブルに防水ジャケット取り付けから、カメラと接続してください。また、DC電源端子、アラーム端子に防水加工を施してください。※自己融着テープを用いる場合、隙間が生じないようにしてください。※シーリング材を用いる場合、シロキサンを抑制したものをご使用ください。接点不良が発生する恐れがあります。

メモリーカードをセットする

カメラのログ、録画データ（動画、静止画）などをmicroSDメモリーカードに記録することができます。microSDメモリーカードはフォーマットしてからご使用ください。フォーマット方法は取扱説明書（操作・設定編）をご確認ください。



1. フロントカバーの六角ネジ（3カ所）をはずし、メインボディから取りはずします。同梱の六角レンチをご使用ください。乾燥剤は取り出さないようにしてください。

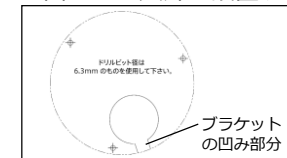


2. microSDメモリーカードを、メモリーカードスロットに差し込みます。microSDメモリーカードの向き（端子面が外向き）を確認してください。誤った向きで差し込んだ場合、データが記録されず、また、スロットの破損や障害が発生する恐れがあります。

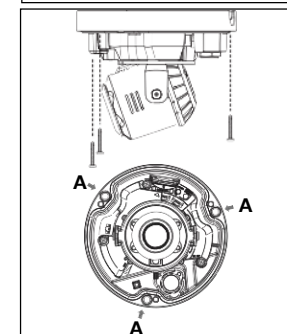
カメラを固定して配線する

記載の方法は一例です。詳しくは設置ガイドをご確認ください。

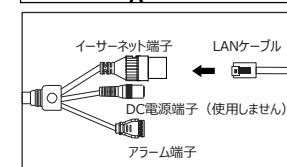
壁面または天井に設置することができます。



1. 固定する位置にネジ穴をあけます。ドリルテンプレート（同梱）を設置位置にはりつけ、ネジ穴位置に合わせて、ドリルでネジ穴をあけてください。



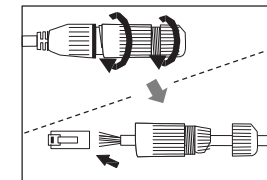
2. 同梱のネジ（M4.0×25）でカメラを固定します。メインボディの<A>の穴からネジで固定してください。ケーブルをブラケットの凹み部分にあわせて固定してください。壁面設置の場合、ブラケットの凹みが下向きになるように固定してください。



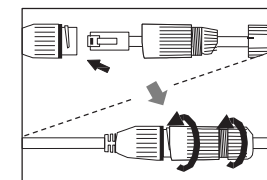
3. LANケーブルを接続します。イーサネット端子の防水ジャケットを取りはずし、LANケーブルを接続します。DC電源端子は使用しません。アラーム端子の使用方法については、お買いあげの販売店までご相談ください。

屋外に設置する場合

雨のかかる屋外に設置する場合は必ず実施してください。LANケーブルに防水ジャケットを取り付けます。

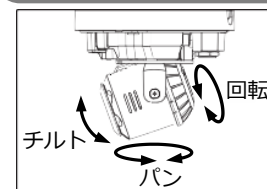


防水ジャケットから防水キャップを回転させて取りはずします。LANケーブルを防水キャップと防水ジャケットに通し、RJ-45専用の工具でRJ-45コネクタに接続します。ストレート結線にしてください。



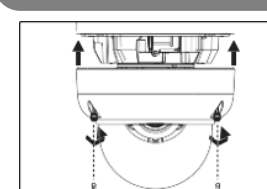
RJ-45コネクタをカメラのイーサネット端子と接続し、防水ジャケットと防水キャップを締めます。防水ジャケットのバックルの向きに注意して、元通りの向きになるように取り付けてください。

カメラの角度を調節する



カメラを目的の角度に調節します。レンズ部のパン、チルト、回転を動かし、目的の角度に調節してください。

フロントカバーを取り付ける



フロントカバーを取り付け、六角ネジで3カ所固定します。

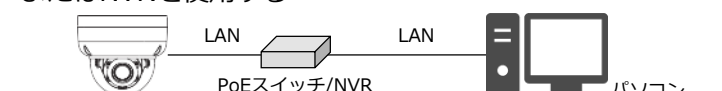
バックルが正しい位置に装着されていること、乾燥剤が入っていることを確認してからフロントカバーを取り付けてください。

設定・操作する

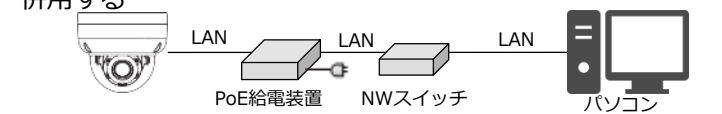
システム構成

次のいずれかのシステム構成で、パソコンのWebブラウザからカメラを設定・操作することができます。

- PoE給電機能付きのネットワークスイッチ（PoEスイッチ）またはNVRを使用する



- PoE給電装置とネットワークスイッチ（NWスイッチ）を併用する



<パソコンのシステム要件（推奨）>
対応OS：Windows10 CPU：Core i5 第7世代 メモリー：8 GB
グラフィックボード：NVIDIA Webブラウザ：Microsoft Edge IEモード

カメラを設定する

パソコンのWebブラウザを介してカメラにアクセスします。

- メモ：**
 - カメラにアクセスする前に、LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - WebブラウザはMicrosoft Edge IEモードをご使用ください。
 - カメラの初期IPアドレスは **192.168.0.200** です。
 - JPEGまたはフルHDビデオを表示するには、ActiveXコントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、インストールしてください。

1. NVRまたはPoE給電装置の電源をONにします。
2. パソコンをカメラと同一のネットワークに接続します。パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。
3. パソコンでMicrosoft Edgeを起動し、アドレスバーにカメラの初期IPアドレスを入力後、エンターキーを押します。

